

学校教育目標

『かしこく・やさしく・たくましく』



〈目指す学校像〉

『思いやり日本一の学校』

# 川越小だより

9月号 令和7年9月1日

〈磨こう3つの玉〉

○みつけ玉

○しんせつ玉

○がまん玉

## 目標をもつことの意味と力

長い夏休みが明け、学校に子どもたちの明るい笑顔と元気な声が戻ってきました。大きな行事のある2学期がいよいよ始まります。季節のうつろいを感じながら、子どもたちはまた一歩、新たな学びに向かって歩き出しました。

この夏、私の心に強く残った出来事があります。それは、7月に行われた野球殿堂記念式典に出席した際のイチローさんのスピーチです。長年にわたって日本とアメリカで活躍し、多くの記録を打ち立てたイチローさん。その偉業の裏にあった思いや努力が、あらためて言葉として語られました。その中で、特に印象的だったのが、次の言葉です。

**「小さなことを積み重ねれば、可能性は無限に広がる。」**

**「夢を見るのは楽しいが、目標を持つことは難しい。なぜなら、挑戦が伴うから。」**

「夢」は、心を自由に羽ばたかせてくれます。けれど、「目標」は、自分の足でそこへ向かって歩き出さなければ、近づいてはきません。そして、目標に向かう過程では、思い通りにいかないこと、失敗やくじけそうになることもあるでしょう。

それでも、小さな努力を積み重ね、コツコツと挑戦を続けることで、子どもたちは自分の可能性を広げていくのだと、イチローさんの言葉は教えてくれました。今すぐに結果が出なくても、あきらめずに取り組み続けることで、やがて想像もしなかった景色にたどり着けるかもしれません。

2学期は、運動会や音楽会など、クラスや学年で協力しながら目標に向かって取り組む行事が多くあります。成功もあれば、うまくいかないこともきっとあるでしょう。でも、そこで逃げずに挑戦し、自分なりの「小さな積み重ね」を続けることが、一人ひとりの成長につながります。

保護者の皆様には、是非お子さんが立てた目標と一緒に寄り添い、時に励まし、時に見守りながら、長い目でその成長を応援していただきたいと思います。結果よりも過程に目を向け、「今日も頑張ったね。」「少しずつ前に進んでいるね。」という声かけが、子どもたちの大きな力になります。

私たち教職員も、子どもたち一人ひとりの努力と挑戦をしっかりと受け止め、可能性を信じて共に歩んで参ります。2学期もどうぞよろしく願いいたします。

#### 災害発生時の対応について

9月1日は「防災の日」です。学校でも避難訓練等を通じて災害時の動きを子どもたちと一緒に確認しますが、ご家庭でも家族との連絡方法や避難場所の確認など話合っただけだと

思います。川越市の学校では、震度5弱以上の地震が発生した場合には、「引き渡し」となります。右のQRコードまたは別途、配布しました「地震災害発生時の対応について」をよくお読みいただき、適切な行動がとれるようご確認をお願いいたします。



#### 「川越市交通指導員」の制度について

朝の登校時に子どもたちの安全を守るため通学路において登校指導をしていただいています。本校の通学路においても交通指導員の方々に指導をしていただいています。さらに充実を図りたいと考えております。右のQRコードから関連資料をご参照いただき、ご協力いただける方は学校にご連絡ください。



#### 夏季休業中の活動

- ・7月25日(金)～26日(土)、自然に親しみ心身の健全な発達を図ること、規律ある集団生活を通して望ましい生活態度を身につけることを目的として林間学校に行きました。1日目は、湯の丸山登山とキャンプファイヤー、2日目はボッチャ体験を行い、群馬県立自然史博物館を見学しました。
- ・7月27日(日)、川越市民体育祭陸上競技の部が行われ、川越小の代表児童は100m走、800m走、走幅跳に出場しました。
- ・8月6日(水)、市内小・中学校の代表児童生徒が集まり、入間地区JRCリーダーシップトレーニングセンターを川越小で実施しました。